

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型事業所 アルピナ		公表日		2026年 3月 12日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		7	1
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		8	0			
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		8	0			
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		8	0	日々掃除や整理整頓を行っている。月末には美化点検も行っている。季節を感じられるような花や作品を掲示している。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		7	1	必要に応じてパーティションを使用している。	ワンフロアの過ごしのため完全な個室対応は難しい時がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		8	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6	1	スタッフミーティングにて周知し、話し合う機会を設けている。	その他（1） 今後行う予定
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		8	0	日頃から意見交換しやすい雰囲気作りに努め、業務改善に繋げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	4	第三者委員会に加入していないため不明。必要に応じて第三者が介入する事はあると思う。	その他（2） 第三者による外部評価を行っているのか不明。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		7	1	研修に参加した場合は、その後他職員にも情報共有している。定期的に事業所内で勉強会を計画している。担当制にすることで受け身ではない学びがある。	学びがその場限りで、日々の支援に生かされていないこともある。個々に定着するよう、繰り返しが大切。
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		8	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		7	1		適切なタイミングでケース会議を行い、スタッフ間で情報を共有または周知し、支援に反映していきたい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		6	0	スタッフミーティングに参加できないスタッフには議事録を回覧し、共通理解を図っている。	その他（2） スタッフの想いの中に、（喜んでもらいたい）（楽しんでもらいたい）（いい物を作りたい）という思いが強く出ているのかもしれない。利用児やご家族の思いに寄り添った関わりを目指したい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		8	0	スタッフミーティングに参加できないスタッフには議事録を回覧し、共通理解を図っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		7	0		その他（1） スタッフによっては、勤務体制、勤務時間によって、利用児に関わる時間に違いがある。が、それを理由にせず情報の共有を同じタイミングで出来るようにする。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		7	1		その他（1） 5領域に移行し、十分理解できていない点もある。スタッフ全員で研鑽に努めていこうと思う。

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	来年度も行事の立案・計画・実行は担当制で行い、スタッフミーティングを話し合う場としたい。	来年度もいろいろな行事をスタッフ全員で盛り上げていきたいと思う。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		その他（1）
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		その他（1）
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	朝の会の、全員そろったタイミングで情報共有、確認している。 医ケアは担当制になっており、その日の担当はカードで「可視化」し、全体でフォローできる体制をとっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	暮会に参加できない場合は、振り返りノートに残し、いつでも確認できるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			その他（1） 記録の書き方に個人差がある。視点や内容など、記録の仕方を学んでいく必要がある。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		書面や送迎時にご家族から得た情報が支援計画に関わる内容であれば、必要に応じてミーティングを行っている。	その他（1）
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	毎月活動予定表を作成し、バランスよく実施できるように心がけている。	その他（1） 4つの基本活動を十分理解できていないところもある。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		スタッフが答えを誘導するのではなく、小さな反応を見逃さないように配慮している。	場合によってはスタッフの時間に合わせてしまうことがある。「何が大切か」を意識しながら支援に取り組んでいきたい。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		その他（1）
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2		学校、相談支援事業所との連携の機会はあるが、医療関係はご家族を通しての情報収集が多い。今後は積極的に取り組んでいこうと思う。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		その他（1）
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2		その他（4）
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		その他（3）
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7		その他（1） 時間的に難しいが、土曜開所開催時など工夫出来る場面を見つけていきたいと思う。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	児童発達事業連絡協議会を通して関わっている。	その他（3）
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	連絡ノートだけでなく、送迎時に口頭でその日の様子をお伝えし、相互理解を目指している。	その他（1）
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		その他（2）
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1	契約時や質問があった際は丁寧にお応えしている。	その他（2）
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	支援を行う中で疑問に感じたことがあれば、こちらからご家族に尋ねることもある。	その他（1）

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	1	今後も利用児、ご家族の想いに沿った支援計画の作成に努める。	その他（1）
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	小さなことでも気軽に話していただけるような雰囲気大切にしている。	その他（2）
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2		その他（1） 5周年の記念に「親子クッキング」を開催したところ好評だった。きょうだい同士の交流は今のところない。今後は必要に応じて検討したい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	今後も、連絡があった場合は状況を確認し、素早く、その時にできる最善の対応をしていきたい。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	1	不定期ではあるが、お便りを発行している。必要に応じてラインで対応している。	定期発行はしていない。今後はHPやSNS等の活用にも力を入れていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	樺祭では地域の方にチラシを配布し、交流する機会を設けている。	その他（1）
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0		その他（1）
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		その他（1） 「子どもの安全確保」が広義なため、十分理解できていない点がある
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1	定期的に研修を重ね、周知徹底を図っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	研修にて身体拘束についての見直しと確認を行っている		